管機連Daily News

2025年9月17日（水）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆4～6月の需給ギャップ、プラス0.3%　2兆円の需要超過

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが4～6月期は0.3%のプラスだったとの推計結果を発表。年換算で2兆円ほどの需要超過だった。新型コロナウイルス禍前の2019年7～9月期（プラス0.9%）以来の高い需要超過の水準となった。早めに訪れた暑さが人々の飲食需要を喚起し、個人消費などが上振れした。

◆非上場も株式報酬導入しやすく、金融庁が届出書不要に　新興育成急ぐ

・非上場企業が社員に株式報酬を付与しやすくなる。金融庁は役員や従業員に自社株を報酬として与える場合の金融商品取引法に基づく法定書類の提出を不要にする。上場前の新興企業が優秀な人材を獲得できるように、報酬の選択肢を広げる。2025年末までに詳細を詰め、年明け以降に関連する法規制の改正を目指す。

◆8月の消費2.4%増　外食や娯楽が好調、民間調査

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく8月の消費データを発表。名目で前年同月比2.4%増。サービスは3.2%増。外食が12.2%増とけん引。1人あたり金額の増加が背景にある。娯楽はゴルフ場や遊園地が好調で5.1%増。小売りは1.5%増だった。7月に12.0%減と大きく落ち込んだ家電販売が8月は0.8%減と持ち直し。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆国家公務員の採用試験、技術系2年連続「定員割れ」　土木は予定の半分

・2025年度の国家公務員の一般職採用試験（大卒程度）で、技術系土木区分の合格者数は前年度比26%減の231人。2年連続で採用予定数を下回った。採用予定数に対する合格者数の割合（充足率）は、24年度の74%から25年度は52%と大幅に低下し、ほぼ半分にとどまった。土木、建築を含む技術系全体の合格者数も2年連続で「定員割れ」。

◆東京製鉄が鋼材を5カ月ぶり値下げ　最大1割、建設など需要低迷で

・東京製鉄は10月契約で主要な鉄鋼製品の価格を引き下げると発表した。値下げは5カ月ぶりで、最も下げ幅の大きいH形鋼などは1割安になる。建設向けなど需要の縮小で流通市場では先行して相場下落が続いていた。市況の実勢にあわせて販売価格を引き下げ、底入れを図る。

◆8月中古戸建て、首都圏3カ月ぶり上昇　23区築古化・面積縮小で下落

・東京カンテイは8月の主要都市における木造一戸建て中古住宅の価格動向を発表。首都圏の中古一戸建ての平均価格は、前月比2.5%増の4084万円と3カ月ぶりに上昇。東京都は6307万円（4.9%減）と下落し、前年同月比も縮小。神奈川県は4468万円（9.7%増）と大きく上昇し、1年以上築浅化した。千葉県は2893万円（0.3%減）と連続下落。

≪　注目商品　≫

■ミーレ、高吸引力のコードレススティック掃除機

・日本国内では初めて、コードレススティック掃除機6機種を発売。「Triflex（トライフレックス）HX2シリーズ」3機種、「Duoflex（デュオフレックス）HX1シリーズ」3機種をラインアップ。高速で大きな渦を発生させて高い吸引力を発揮。床に吸い付くような「密着清掃」を実現。

■サンワサプライ、設置も角度も自由自在な充電式LED作業灯

・6段階調光と自在な角度調整が可能なLEDワークライト「LED-WL2」を8月下旬に発売。防水規格IPX6対応で、雨天でも使用できるLED作業灯です。充電式でコードレス、自由な持ち運びが可能。多彩な設置方法に対応し、あらゆる作業シーンを強力にサポート。

■LIXIL、最適・最小化した新コンセプト「ULキッチン」

・”次世代のウルトラライトキッチン”「ULキッチン」を発売。キッチンには収納量や機能性よりもデザイン性を求めるミニマル思考が増えつつあることを踏まえ、キッチンを構成する「デザイン」「セレクト」「スペック」の3要素を見直して最適・最小化。